臺灣日日新報
本日四頁

比島空軍擊滅戰の華
優賞の譽廿三勇士
海軍關係第二回論功行賞

【東京電話】畏き邊りでは大東亞戰爭第一周年の記念すべき日を明日に控へた七日大東亞戰爭死歿者論功行賞の第二回發表を御沙汰あらせられ、同日午前海軍省より發表された。今回殊勲に浴した者は今次大戰勃發直より本年五月中旬に至るまでの間に西太平洋の各方面に於て戰死した者及び…

海軍省公表(十二月七日午後)

本日海軍關係將士の一部に對し論功行賞の御沙汰を拜し…

大東亞戰爭一周年記念

民族融和の大東亞建設
國民の覺悟要請
青木大東亞相

【東京電話】大東亞戰爭一周年を前にして青木大東亞相は六日午後七時三十分AKのマイクを通じ「大東亞建設の現段階と國民の覺悟」の題下に放送演説を行つた、要旨次の如し(要旨は青木大東亞相)

無敵海鷲の敵に非ず
モレスビー空襲回顧記

【東京電話】〇〇基地にて五日…トモレスビーを回顧なく攻撃…

軍事

爆彈

氣温

上空

下方

雲中

飛行

編隊

陸鷲敵の大船團急襲
直擊必中の猛爆に潰亂
チツタゴン附近海上

【ラングーン(日特派員)】…

在印聯合軍司令部確認

久松侍從歸京
南洋蒼生の視察終り

【東京電話】宮内省發表…

日本の光榮の日迎へ
日伊共感を再强化喜ぶ
ムッソリーニ伊首相異例の會見談

【ローマ四日發同盟】日本の參戰一周年を迎へるに當りムッソリーニ首相は特に日本人記者團と會見することになり四日午後その會見を行つた、イタリアの首相以來ムッソリーニ首相は國家機關のため一切外國記者とは會見を行はず今回の日本人記者團との會見は全く異例のことだ、所定の午後六時記者は朝日、日日代表とともに歷史イタリアの神殿たるヴェネチア宮に足を踏入れた…

日獨伊の提携强固
最後の勝利確信
大島大使駐獨語る

【ベルリン五日發同盟】大島大使は八日の大東亞戰爭一周年を迎へるに當り…

野村生命

我が樞軸軍結束
勝利の大道驀進
坪上大使談

【バンコック六日發同盟】坪上駐泰大使は大東亞戰爭勃發一周年記念日を迎へるに當り…

人事

比島再建奉仕團結成
住民の自發的意思で
軍當局談

【マニラ六日發同盟】比島軍政監部當局談(六日)…

必勝貯蓄に
山一の投資信託
第三次申込期日十二月十二日まで
一口五百圓
山一證券株式會社　臺北支店

中央公論社の新刊
東京丸ビル五階　振替東京三四番
東西六大畫家　武者小路實篤著
音樂と生活　園部三郎著
文學論　中村光夫著
賴山陽　市島春城著

本因坊秀哉全集　全五巻　第三巻まで既刊
秀哉會編
鴻原正廣編
秀策全集　全三巻完成
博文館發行
相撲範典　笠置山勝一著
相撲雜記　笠置山勝一著
相撲人國記　増島信吉著
劍道入門　小笠原三郎著

小學館の少國民雜誌
☆十二月號發賣中☆
コイコイヨツ　定價五十錢
良い子の友　定價四十五錢
少國民の友　定價五十錢
青少年の友　定價四十錢
日本少女　定價五十錢
最新刊
湖南の兵士　小説
志士詩文集　影山正治著
濱木綿の歌　小説　小高根二郎著
東京市神田區一ツ橋　小學館　振替東京四五一〇七

大量生産管理と統計的方法　石田保士・北川敏男共譯
(生産工學)
健康管理　山口正義著
工具及び材料管理　川崎重工業・森永弥七郎著
歡喜咲(ゑらぎ)　島津久基著
得能物語　伊藤整著
文學母胎　豊島與志雄著
河出書房　東京市日本橋區通三　振替東京一〇八〇二

大東亞戰完勝へ
―突入茲に一年生産增强の誓ひ―

戰力增强の途と臺灣工業化の使命

總督府工研所長 池田鐵作

動力源泉を開發
臺灣電力の企圖に聽く

田端副社長

戰爭と勞務
―正しい勤勞觀樹立―

協力經濟主義へ
臺灣產業副會長 三輪幸助

國家總力戰下の統制經濟と新道德
總督府田中商政課長談

比島初空襲に參加
優賞の恩命 手塚海軍飛行兵曹長

陣中に貫く"死生觀"
殊勳甲の優賞 内田正二大尉に輝く

死生を

覺悟を

感狀拜受既に三たび
殊勳甲に輝く 百戰錬磨の荒鷲小島一飛曹

米比軍上空に獅子奮迅
輝く殊勳甲・山田秀夫特務少尉

鬪志は

一彈は

破格の

生前既に決死の覺悟
若鷲早坂一空曹の遺族語る

米英何物ぞ！斷乎勝ち拔け

大東亞書房 近刊・發賣
白衣の花嫁 明日の街道
書房 支那服の女 ガラマサどん
房二 女人果 次男坊
好ノ評 孤島の魔人 負けない男
書評 名探偵 選ばれた男 二人の信三郎

投資信託
有利な貯蓄！
確實な新投資！
値上りの妙味！
これから愈々
眞價を發揮する
一口・五百圓
―說明書送呈―
締切・十二月十二日
野村證券
台北市表町二ノ一〇・電四〇〇一番

銃後も戰線！
健康で御奉公
キキメで評判の
ベルツ丸
鈴木日本製藥社

錠劑 わかもと
每日疲れる
强度作業者に
結核を起さぬやう、一月の
疲れは速やかに緩解！
わかもと本舖

パピリオ
クレーム三種、A B とC あり。
粉白粉十二色（新しい肌色四種）
ほほ紅十二色 口紅八色

化學的 協力殺菌 消炎鎭痛
化膿症に
扁桃腺炎 感冒丹毒 外傷化膿 急性慢性 淋疾
内服 ケシゴール
最新多基性化學療法劑
東京市芝區 河原商店

萬 媒 産婆 洋裁 食堂 京染 印畫 コン レコード

米英何物ぞ！斷乎勝ち拔け

開戰一周年　聖戰完遂講演會

婦人も亦〝鬪ふ戰士〟

一億總進軍婦人の責務は重大

山本事務總長講演

山本皇奉事務總長

國民よ敵愾心を持て

戰機逸せず生産力增强へ

伊藤武官口演

伊藤海軍武官

米英本土〝擊攘〟まで

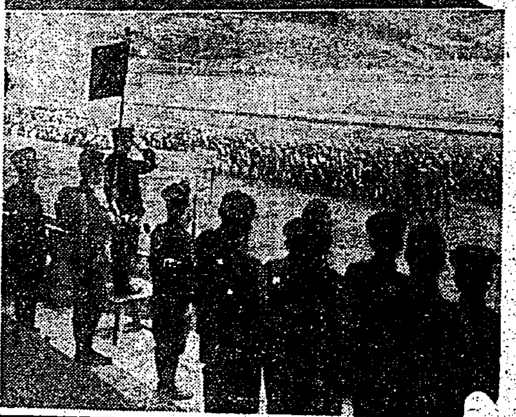
人面の鬼畜を斷乎擊て

藤岡少將口演

藤岡軍報道部長

本島青年の雄飛切望

川村スマトラ司政長官寄臺談



曉闇衝いて突擊戰

青年學徒士氣昂揚　前線偲ぶ聯合演習終る

花蓮港下青年學徒聯合演習　きのふ終了

大東亞戰爭一周年記念大講演會

本社に於ては大東亞戰爭一周年に當り時局の認識に徹して皇島戰場精神を昂揚し生産增强、戰力の强化と戰爭生活の實踐に資し昨年十二月八日のあの感激と決意を新たにし以て米英擊滅、大東亞建設へ挺身協力する爲め此の意義深き十二月八日に大講演會並に映畫會を左の通り開催する、一般の來聽を歡迎する（但し十五歳以下の兒童は入場を御遠慮乞ふ）

一、日時　八日午後六時三十分

一、場所　臺北市公會堂

講演

現下の國際情勢と國民の覺悟　總督府外事部長　蜂谷輝雄閣下

新國民運動の實踐　皇民奉公會中央本部事務總長　山本眞平氏

太平洋の戰略情勢を直視せよ　臺北在勤海軍武官海軍少將　伊藤安之進閣下

大東亞戰爭一周年に當りて　臺灣軍參謀長陸軍少將　樋口敬七郎閣下

映畫

大東亞戰爭擊滅記九卷其他

主催　臺灣日日新報社

開戰一周年記念展好評

臺灣軍用犬展　きのふ開催

第八回拮援クラブ錬成會修了式擧行

第一放送

第二放送

食慾が進み、メキ〳〵肥る　胃腸

自力健康器

使用は簡單　朝夕十五分　女も子供も老人も！

藥店にあります

大東亞戰爭一周年記念　あの感激を國債、債券へ！

大東亞戰爭國債　郵便局賣出　12月7日—18日

第六回戰時貯蓄報國債券　賣出　12月7日—1月7日

冬の溫い飲料　興亞　ユニースピー（砂糖入り）

第六回決算報告

建築界之福音來る　タール製ルーヒング　價格低廉・使用簡單

屋根瓦並にスレートの代用品　タール・ルーヒング

臺灣總販賣元　富士商會　代表者 柳川敏三郎

本店 基隆市日新町七ノ三　出張所 臺北市下奎府町四ノ七〇

引換期日　昭和十七年十二月十五日限

引換場所　臺北市本町二丁目　村山商行內　本町連鎖會

機維製品島內仕入實績申告ニ付テ

臺灣纖維製品小賣商組合聯合會

齒科澁谷齒科醫院

齒科鎌田齒科醫院

齒科合志齒科醫院

齒科須永齒科醫院

齒科矢野齒科醫院

皮膚科泌尿器科　楊東波醫院

泌尿器科皮膚科　保生醫院

キキメで評判の　ベルツ丸

信認　眞價を發揮する　一口・五百圓　締切・十二月十二日

證券

夫刑妻トクヨ儀十二月六日午前九時四十分急死致候間生前ノ御交誼ヲ謝シ御通知ニ代へ此段謹告仕候

昭和十七年十二月七日

夫 石橋虎吉　男 石橋慶進　親戚 石戸山清次　瀨戸山淸之助　堀虎勝　綿谷吾郎　多大見次郎　東淺長三郎　安武長三郎　友人代表 木村德三郎

大東亞戰爭ニ際シ名譽ノ戰病死ヲ遂ゲラレタル故陸軍囑託李廷秀殿ノ街葬ヲ來ル十二月十日午後四時三十分淡水街公會堂ニ於テ執行可致候條此段謹告致候

昭和十七年十二月七日

淡水街長　小副川猛

會葬御禮　山本清太郎　山本一重

會葬御禮　十二月七日　高木拾郎　親戚一同

護れ銃後の「兵站線」
增產報國へ完璧の布陣
來年度第一期作米推進計畫確立す

開戰一周年記念行事

銃後婦人の覺悟强調
高雄市・きのふ記念講演會開催

必勝へ島民の奮起要望
臺南市 聖戰完遂講演會盛況

新廟祭を執行
臺南、開山兩神社に

東港神社に新願祭執行

聽衆に感銘與ふ
宜蘭市の講演會

鹵獲兵器の修理(西貢)

思想戰完遂講演會

讀書へ市民切實の聲
港都 基隆市の圖書館を覗く

現代人の智育

惡作の氾濫

僅か四十一名

時間潰しに

市民有識階級

積つたぞ堆肥の山
羅東郡・草刈廢物蒐集活潑

報恩感謝生活の實踐
臺南市 十日から 一齊に方面感謝運動展開

虎尾郡の記念行事決る

大詔奉戴貯金

高砂義勇隊員 小隊長戰病死

次の朝刊小說

中野實氏

大いなる祭
中野實作 三好悌吉畫

作者の言葉
中野實

三好悌吉氏

嘉義市聯合青年團査閲實施

配給砂糖の行方?
南方產業會社の"闇"暴露

臺中州奉公 產業會結成

冬山登山隊を組織

講習科生募集

彰化市青年團査閲

增產期間を設定"皆勤競爭"
金瓜石鑛業所で

臺中州警察保甲 道場上棟式舉行

東石郡高額貯蓄組合結成

志願兵讀本を青年團幹部に配布

(第四局ノ八) 七段 林有太郎 先番 六段 高川格

白少しく損か

參考圖

結核菌に勝つ淨血法 ネオラミン

動悸・息切れ・ね汗に 救心 朝夕一粒

仁丹 心身の過勞に 胃腸に 頭痛に 疲勞に 体力蓄積の今 最善の策は毎食後の仁丹! それは消化機能を强力に働かせ 何んな物からでも十二分の榮養化を營ませるから……

結核予防と病後衰弱に ネオトン 榮養補給が大切!

リキシン 便秘 肩凝り 不眠頭痛 惡醉二日醉 腦溢血豫防 動脈硬化 高血壓 中風

今日の映畫 大世界 臺灣 新世界 芳乃館 芳明館 國際館

臺灣總督府官報 月極購讀一ヶ月四拾錢 發賣所 臺灣日日新報社 島內各地臺日取次店

みんな大喜び! 和田肇 輕音樂集 大東亞

ニキビが取れて色白くなる

南方共榮國へ大陸へ 大日本海外青年會

肺病まるくでお困りの方は

治せ肺病 肋膜炎も同じ療法で